

学年	月	行事等	普通科				造形芸術科
			S特進	特進	準特進	進学	
第2学年	4	・1学期始業式 ・中村治四郎杯	・難関国立大学現役合格に向けた意志を明確に持つ。 ・新たなクラスを作り上げる態度を持つ。  ・学習の黄金サイクルがルーティン化されており、部活動との両立ができる。	・国公立大学現役合格に向けた意志を明確に持つ。 ・新たなクラスを作り上げる態度を持つ。  ・学習の黄金サイクルがルーティン化されており、部活動との両立ができる。	・2年生としてふさわしい生活習慣、授業規律を身に付け、新たなクラスを作り上げる態度を持つ。 ・自身の特性や興味関心に対する理解を深め、大学で学ぶ学問系統の決定に向けた研究をスタートする。 ・学びたい学問とそれを学べる大学の候補を複数持つ。	・2年生としてふさわしい生活習慣、授業規律を身に付け、新たなクラスを作り上げる態度を持つ。 ・自身の特性や興味関心に対する理解を深め、大学で学ぶ学問系統の決定に向けた研究をスタートする。 ・学びたい学問とそれを学べる大学の候補を複数持ち、夏のオープンキャンパスに向けた準備を進める。	・造形芸術科(総合会館)での生活規律と専門学科独自の目標を再度確認し理解を深める。 ・2年後を見据えた進路ガイダンスにより、進路目標を設定する。 ・難易度の高い授業(課題制作)に取り組むことで、美術的知識・課題制作スキルの向上を図る。
	5	・1学期中間考査					・作品制作だけでなく、思考力の強化とプレゼン能力を育成する。
	6	・文化祭 ・1学期期末考査	・文化祭では、クラスでの協働により組織や一人ひとりの特性について正しく考察できる。	・文化祭では、クラスでの協働により組織や一人ひとりの特性について正しく考察できる。	・スタディーサポートの結果から学力・学習力の定着度を認識し、今後の取り組みに活かす。 ・適性検査によりリテラシー、コンピテンシーを測定し、今後の高校生活を目標設定する。	・スタディーサポートの結果から学力・学習力の定着度を認識し、今後の取り組みに活かす。 ・適性検査によりリテラシー、コンピテンシーを測定し、今後の高校生活を目標設定する。	・校外(美術館)での鑑賞会を通して、美術的感性を育成する。
	7	・三者面談 ・1学期終業式 ・アカデミックキャンプ ・夏期課外、補習	・アカデミックキャンプにおける先輩との関わりの中で、第1志望校を明確に持つことの意味を理解する。行事を運営することで、リーダーとしての振る舞い方を学ぶ。	・特進メッセージを通して先輩の考え方を知り、進路希望及び選択の真の意味を考える。	・7月模試の受験を通して、国数英の学習の到達度を知ることで、夏休みの学習計画を行う。 ・オープンキャンパスや各種説明会への参加を通し、大学進学をより具体的にイメージする。また、大学進学後の成長イメージを持つ。	・オープンキャンパスや各種説明会への参加を通し、上級学校への進学をより具体的にイメージする。また、進学後の成長イメージを持つ。	・体育祭バックボードの集団制作を通して、協調性の向上及び感性を育成する。
	8	・夏期課外、補習 ・2学期始業式	・体育祭では中堅学年としてのリーダー性を発揮する。	・体育祭では中堅学年としてのリーダー性を発揮する。			・PCを利用した課題制作を通し、より実践的な制作方法を学ぶ。
	9	・体育祭 ・第1回オープンスクール ・2学期中間考査	・駿台全国模試を受験することで、全国での立ち位置を把握し、今後の取り組みに活かす。				・校外での制作活動(スケッチ大会)を通して、日常の授業では体験できない美術的感性を育成する。
	10	・第2回オープンスクール ・生徒会選挙	・異文化に触れ感動的な体験を通し、新たな価値観を取り入れる。	・修学旅行での経験を活かし、より主体的な学校生活を送る。	・SDGsに関する探究学習を通して、社会とのつながりを意識し、現在の高校での学びと将来の大学での学び、その先に思いを巡らせ、将来像から逆算した自分の成長イメージを持つ。そして、今、自分がやるべきことを強く意識し、学校生活を送る。また、グループワークを通じて、様々な価値観に触れ、多様性への理解を深める。	・SDGsに関する探求学習を通して、社会とのつながりを意識し、現在の高校での学びと将来の学び、その先に思いを巡らせ、将来像から逆算した自分の成長イメージを持つ。そして、今、自分がやるべきことを強く意識し、学校生活を送る。また、グループワークを通じて、様々な価値観に触れ、多様性への理解を深める。	・美術研修旅行(修学旅行)において、様々な美術研修を行い、知識を深め感性を磨く。
	11	・第3回オープンスクール ・修学旅行 ・2学期期末考査	・修学旅行での経験を活かし、より主体的な学校生活を送ることができる。	・英語スピーチ大会を通し、他者を納得させる発表(プレゼン)ができる。	・11月模試から理科・社会の受験が始まるため、志望大学への進学実現に向けた、受験科目の検討を開始する。	・11月模試から理科・社会の受験が始まるため、志望大学への進学実現に向けた、受験科目の検討を開始する。	
	12	・三者面談 ・2学期終業式 ・冬期課外、補習	・三者面談で第一志望校を将来設計との関連性を踏まえ明確にすることができる。  ・共通テスト同日体験により、志望校の合格レベルとの差異を自覚し、その後の学習に活かす。	・三者面談で第一志望校を将来設計との関連性を踏まえ明確にすることができる。  ・共通テスト同日体験により、志望校の合格レベルとの差異を自覚し、その後の学習に活かす。	・進路実現に向けた心構えと具体的な進路実現のための動きを確認し、次年度1年間の計画を立て、終業式以降、受験勉強を開始する。	・進路実現に向けた心構えと具体的な進路実現のための動きを確認し、次年度1年間の計画を立て、終業式以降、受験勉強を開始する。	・デッサン補習により実技入試に対応する画力を身に付ける。
	1	・3学期始業式					・九産大卒業制作展を見学することで、大学での学習内容を理解する。
	2	・3学期考査	・北予備講師及び本校卒業生の講話から受験生として自分と将来をより明確にする。 ・学習に、自分独自の意欲と志を加える。	・北予備講師及び本校卒業生の講話から受験生として自分と将来をより明確にする。 ・学習に、自分独自の意欲と志を加える。	・1年後の受験を見据え、目標設定をより明確に行った上で、模試を受験し、春休みの学習計画を行う。	・1年後の受験を見据え、目標設定をより明確に行った上で、模試を受験し、春休みの学習を計画する。	・授業作品展を通して、対外的作品発表の意義と知ると共に、作品制作の意欲向上を図る。
	3	・進級判定会議 ・修了式			・最上級生になるにあたり、学校運営の中核になることを自覚する。	・最上級生になるにあたり、学校運営の中核になることを自覚する。	・卒業制作の講座を決定する。同時に美大の受験学部・学科も決定する。